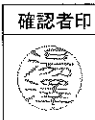


平成23年産 津南町認証米 栽培管理記録簿

農林水産省新ガイドライン基準適合栽培

新潟県津南町慣行栽培基準に対し、節減対象農薬の使用回数及び肥料の化学合成チッソ成分量が5割以下



栽培及び確認責任者 津南町農業協同組合 営農部 営農センター

最終確認 平成23年11月15日 湯沢利夫

生産者 No.	J 0084	品 種 名	コシヒカリBL	栽培面積	759 a
圃場筆数	48筆	栽培協定書	済	圃場設置及び管理 現地確認月日(月/日)	7/25, 8/30

《 耕種概要 》

区分	内容	附記			
育苗管理	種子更新	確認済	温湯済		
	導入先	JA 種子もみ	310 Kg	確認済	
		JA 以外 種子もみ			
	播種月日(月/日)	4/19~4/27			
育苗様式	中苗				
本田管理	田植 時期(月/日)	5/30~6/7			
	田植 植付株数	50 株/坪			
	生育調整	満切り(月/日)	7/1~7/7		
		中干し(月/日)	6/30~7/15		
	出穂期(月/日)	8/11~8/16			
	倒伏	時期	9月中旬		
		程度	中		
	収穫	時期(月/日)	9/29~10/17		
		生育期間での畦畔への除草剤使用	未使用	確認済	
	乾燥・調製	作業形態	自己		
選別網目		1.90 mm	確認済		
作柄・品質	10a当たり収量	497 Kg			
	1等米比率	100 %			
	認証米 出荷数量・玄米品質	月/日	出荷量 (30kg個)	検査等級	玄米タンパク値 (%)
		10/03	122	1等	5.9
		10/03	54	1等	5.8
		10/08	63	1等	5.9
		10/08	109	1等	5.6
		10/08	60	1等	5.5
		10/11	119	1等	5.8
		10/12	121	1等	5.8
10/18		106	1等	5.9	
10/18		19	1等	5.9	
10/19	109	1等	5.9		
10/19	67	1等	5.5		
計	949		5.8		

《 農薬資材使用概要 》

区分	資材名	使用時期 (月/日)	使用量または倍率		処理方法	成分回数	成分名
			箱当たり	10a当たり			
育苗	種子殺菌						
	苗殺菌						
本田	タカレエース粉剤	4/10	6g		床土混和	2	ヒドロキシイソキサゾール、メタラキシル
	Dr.オリゼスターク箱粒剤	5/30	50g		苗箱施用	2	プロベナゾール、ジノテフラン
	エーワンフロアブル	6/9	500ml		散布	2	オキサジクロメホントピリルトリオン
	計					6	

①

農薬使用成分回数 慣行栽培基準比 3. 2 割 (①÷慣行栽培基準19成分回数)

《 肥料資材使用概要 》

区分	資材名	使用時期 (月/日)	使用量		10a当たり成分量 (Kg)				
			箱当たり	10a当たり	チッソ		りん酸	カリ	その他
					全量	内化学合成			
育苗	稚苗苗代配合		25g	0.5 Kg	0.02	0.02	0.03	0.03	
	追肥								
本田	くみあい液肥2号		10g	0.2 Kg	0.02	0.02	0.01	0.02	
	くみあい液肥2号		10g	0.2 Kg	0.02	0.02	0.01	0.02	
土づくり	魚沼ロマンソイルスター	5/18		40 Kg	0.00	0.00	2.00		アルカリ24.5%、けい酸17.5%、苦土7%、腐植酸7%
	ようりん	5/18		80 Kg	0.00	0.00	16.00		アルカリ45%、けい酸20%、苦土12%
基肥	魚沼ロマンベストS220	5/30		30 Kg	3.60	3.45	3.60	3.00	
	なたね油粕	5/18		20 Kg	1.00	0.00	0.40	0.20	
調整肥	魚沼ロマンゲルメース	7/12		30 Kg	0.00	0.00	1.80		苦土10%、マンガン0.1%、ほう素0.1%
	計						4.77		

②

肥料化学合成チッソ成分量 慣行栽培基準比 4. 8 割 (②÷慣行栽培基準10Kg/10a)